



2018年11月1日
東日本旅客鉄道株式会社

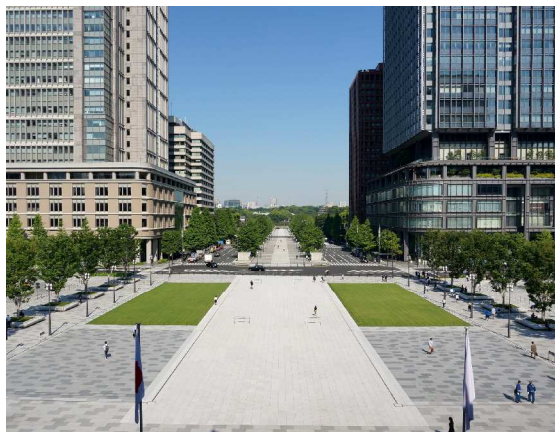
2018年度「グッドデザイン金賞」の受賞について

2018年度グッドデザイン賞において、「グッドデザイン・ベスト100」を受賞していた「丸の内駅前広場から行幸通りに繋がる景観」が、「グッドデザイン金賞（経済産業大臣賞）」に選出されました。

※「丸の内駅前広場から行幸通りに繋がる景観」は、東京都との共同応募です。



GOOD DESIGN AWARD 2018 グッドデザイン金賞



「丸の内駅前広場から行幸通りに繋がる景観」

■グッドデザイン金賞は、社会の課題に対する取り組みとしての内容、将来に向けた提案性や完成度の高さなど、総合的な観点から、グッドデザイン賞審査委員会が今年度もっとも優れていると評価したデザインに贈られる経済産業大臣賞です。

本件は、今年度4,789件の審査対象からグッドデザイン・ベスト100に選出されており、そのうち19件の金賞に選出されました。

■「丸の内駅前広場から行幸通りに繋がる景観」は、東京都と弊社が共同で取り組み、学識経験者・有識者などの助言・協力をいただきながら整備を行ってきました。駅前に大規模な歩行者空間を構え、皇居まで続く景観軸を意識した一体感のある空間を作り、格調高い首都東京の「顔」を創出したこと、またこれにより新たに人々の集う場所を生み出したことなどの点が評価されました。

■東京駅開業から約 100 年を経て整備された丸の内駅前広場と行幸通りは、首都東京の顔、日本の顔として、新たな歴史をみなさまと共に歩んでまいります。

